

『子どもたちの未来のために…』

大人たちが抱える責任と未来予想図』

いわき市まち・未来創造支援事業

被曝後のこれからを考える

小出裕章 講演会

2014年3月21日（金） 13:00 開場 13:30 開演～ 16:30 終了

場所：いわき市文化センター 1F 大ホール

参加費：500 円 （チケット販売あり）

2011.3.11…あの日の原発事故から3年が過ぎた2014年3月に、小出裕章さんをいわきにお迎えします。

使用済み核燃料棒のこと、海や地下への汚染水流出のこと、問題を山積みにしたまま月日は流れ、やがて幼い子どもたちは成長します。

私たち大人は、成長していく子どもたちに何を背負わせてしまったのか。

そして、本当はどんな未来を願っていたのか。

起きてしまった事故の収束という…果てなくつく高い壁を見上げながら、子どもたちの未来のために、「今、しなければならぬこと」を心の深い部分で感じ、考えてみませんか。

ぜひ、小出裕章さんのお話を聞きにいらしてください。

一人でも多くのおみなさんの御参加をお待ちいたしております。



小出裕章プロフィール

小出 裕章（こいで ひろあき、1949年8月29日 - ）は、日本の工学者（原子核工学）。京都大学原子炉実験所助教。京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻助教。所属学会は日本保健物理学会、エントロピー学会。研究分野は環境動態解析、原子力安全、放射性物質の環境動態。

上野の自営業者の家庭に2人兄弟の次男として生まれる。1968年、開成高等学校卒業。1972年、東北大学工学部原子核工学科卒業。1974年、東北大学大学院工学研究科修士課程修了（原子核工学）後、文部教官に採用され、京都大学原子炉実験所に勤務している。開成高校時代には「地質部」で、野外で岩石や地層を追い求めながら自然に親しんだ。小出の兄は、千葉大学医学部を経て医師となったが、小出は「これからは石油・石炭でなく原子力の時代」と考え原子核工学を志した。希望が叶い大学入学後は原子核工学を専攻。現代の原子核工学における放射線被害に興味をもち、原子力発電に反対している。以後現在まで一貫して「原子力をやめることに役に立つ研究」を行なっている。

著書

『3・11原発事故を語る』（2011年9月、本の泉社）共著：矢ヶ崎克馬
『原発・放射能 子どもが危ない』（2011年9月、文春新書）共著：黒部信一
『原発のないふるさとを』（2012年2月、批評社）共著：土井淑平
『いのちか原発か』（2012年3月、風媒社）共著：中島哲演
『原発に反対しながら研究をつづける小出裕章さんのおはなし』（2012年3月、クレヨンハウス）小出監修、野村保子著
『「最悪」の施設 六ヶ所村再処理工場』（2012年8月、集英社新書）
『原発再稼働の深い闇』（2012年9月、宝島社）共著：一ノ宮美成、鈴木智彦、広瀬 隆
『原発事故後の日本を生きるといふこと』（2012年11月、農産漁村文化協会）共著：植田聡、中島哲演
『原発と日本人 自分を売らない思想』（2012年12月、角川書店）共著：佐高信
『原発事故と農の復興：避難すれば、それですむのか?!』（2013年3月、コモンズ）共著：明率哲夫、中島紀一、菅野正寿
他、多数。

2014年3月21日（金）13:00 開場 13:30 開演～16:30 終了

場所：いわき市文化センター 1F 大ホール（いわき市平字堂根町 1-4 ☎0246-22-5431）

アクセス：JR 常磐線・磐越東線いわき駅より徒歩 15 分 平中町バス停より徒歩 1 分

常磐自動車道いわき中央 IC より車で 10 分。無料駐車場 69 台あり。

参加費：500 円 チケット販売あり

チケット販売＆問い合わせ

NPO法人いわき放射能市民測定室 たらちね <http://www.iwakisokuteishitu.com/>

TEL/FAX 0246-92-2526 Email tarachine@bz04.plala.or.jp

☆チケットは前売り販売がございます。会場が定員になり次第、販売を終了させていただきます。

お振り込みで購入される方は、電話・FAX・Eメールにてお申し込みをお願いいたします。

託児：あり 2歳以上からお預かりいたします。

託児申し込み：TEL/FAX 0246-92-2526 Email tarachine@bz04.plala.or.jp

☆FAX・メールでのお申し込みの場合、子どもの氏名・年齢・性別・保護者氏名・携帯電話番号を明記してください。

託児の申し込みは託児の人数が定員になり次第、締め切らせていただきます。